

【校是】「報徳」～天地人の徳に報いるなり～

【学校教育目標】 ふるさとや命を大切に、笑顔あふれる学校づくり～自他を大切に、自ら「前進」できる子どもの育成～

引き渡し訓練お世話になりました



今年度の「引き渡し訓練」を5月16日(土)に行いました。この訓練は、火災や地震、不審者対応などを想定し、いざという時に、慌てないで対応できるようにするためのものです。また、いつ起こるか分からない災害時に、確実に保護者の方へお子さんを引き渡すための手順を確認し、保護者の皆様の防災意識を高めるとともに、教職員も確実に子どもさんを受け渡しができるようにすることを目的としています。

今回は、緊急事態が発生し、学校から「すぐーる」で保護者へ連絡を行い、子どもたちが待つホールまで迎えに来ていただきました。学校では、事前に提出されていた引き渡しカードを確認しながら、お子さんを保護者の方へお渡しし、そのまま一緒に下校していただきました。子どもたちが学校と家庭が連携し、もしもの時にスムーズに行動できることが大切です。本校では、そのための訓練を毎年継続して行っています。

ご家庭でも、子どもたちの安心・安全を守るために、災害時の行動や避難場所、連絡方法などについて、ぜひ話し合う時間をもっていただければと思います。また、当日は交通指導員、防犯協会、山東コミュニティの方6人にも駆けつけていただき、子どもたちや保護者の皆様が安全に移動できるよう誘導していただきました。

ご協力いただいた皆様に、心より感謝申し上げます。

いも植えをしました



5月14日(木)、学校裏門(山東郵便局側)にある「山東農園」で、1年生と2年生がいも植えを行いました。この活動には、保護者である上田様、田中様、塚本夫妻様のご指導・ご協力のもと実施したもので、子どもたちにとって自然に触れながら学ぶ貴重な体験となりました。

当日までに、上記の皆様が畑を丁寧に耕し、うねをつくり、マルチを張って準備を整えてくださいました。お忙しい中、子どもたちのために時間を割いていただきありがとうございました。



この日は、甘みの強い品種として人気のある「紅はるか」の苗を植えました。子ども一人につき3~4本の苗を植えることになり、塚本様からは、イラスト付きのとも分かりやすい説明をしていただきました。苗を斜めに植える理由や、土のかけ方などを教えていただき、子どもたちはうなずきながら真剣に耳を傾けていました。

いざ植え始めると、子どもたちは土の感触を楽しみながら、一本一本の苗に心を込めて植えていきました。植え終わった苗に、全員で「大きくなあれ。」と声をかけ、子どもたちの優しい気持ちが伝わってきました。

この日は日差しが強く、汗ばむほどの陽気でしたが、子どもたちは終始楽しそうに活動に取り組んでいました。土に触れ、地域の方と関わりながら学ぶ時間は、教室では得られない大切な経験です。

最後には、みんなで畑の前に並び、記念撮影をしました。笑顔いっぱいの子どもの表情から、充実したひとときであったことが伝わってきました。

これから夏に向けて苗はぐんぐん成長していきます。秋の収穫の日を、子どもたちは今から楽しみにしているようです。保護者や地域の皆様の温かいご支援に感謝しながら、子どもたちと一緒に成長を見守っていききたいと思います。

